

## 1 グリーン運賃の有料化に向けた検討

グリーン運賃(現在は無料)について、以下の課題を踏まえて有料化に向けて検討する。

### 【主な課題①】

運行開始当初の運賃を無料とする考え方(注)を果たすことができたかの検証が必要

### 【主な課題②】

財政負担の抑制を図ることが必要

### 【主な課題③】

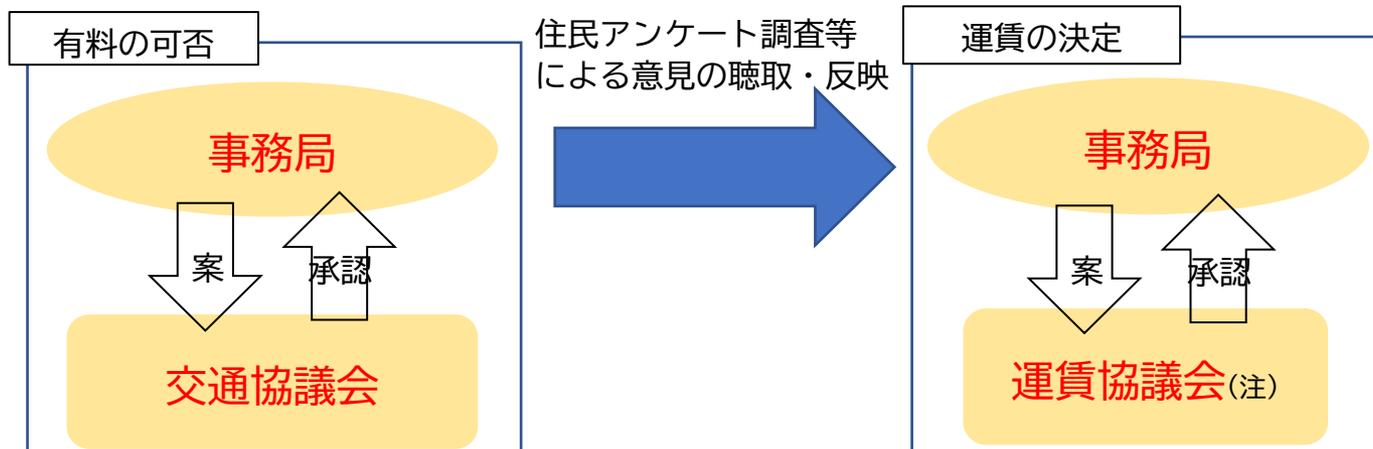
- ・ 受益者負担の観点からすると、利用者に一定の負担を求めることが適当

(注)当初の運賃無料の考え方は、「公共交通のきっかけづくりや人流増による地域活性化のため、暫定的に(当面の間)無料で運行する。」としていた。

### 【主な検討の視点】

- ・ 運賃の有料化の可否
- ・ 運賃を有料化する場合、運賃の料金体系や金額、減免の範囲、実施時期

(参考) 運賃の決定に係るプロセスについて

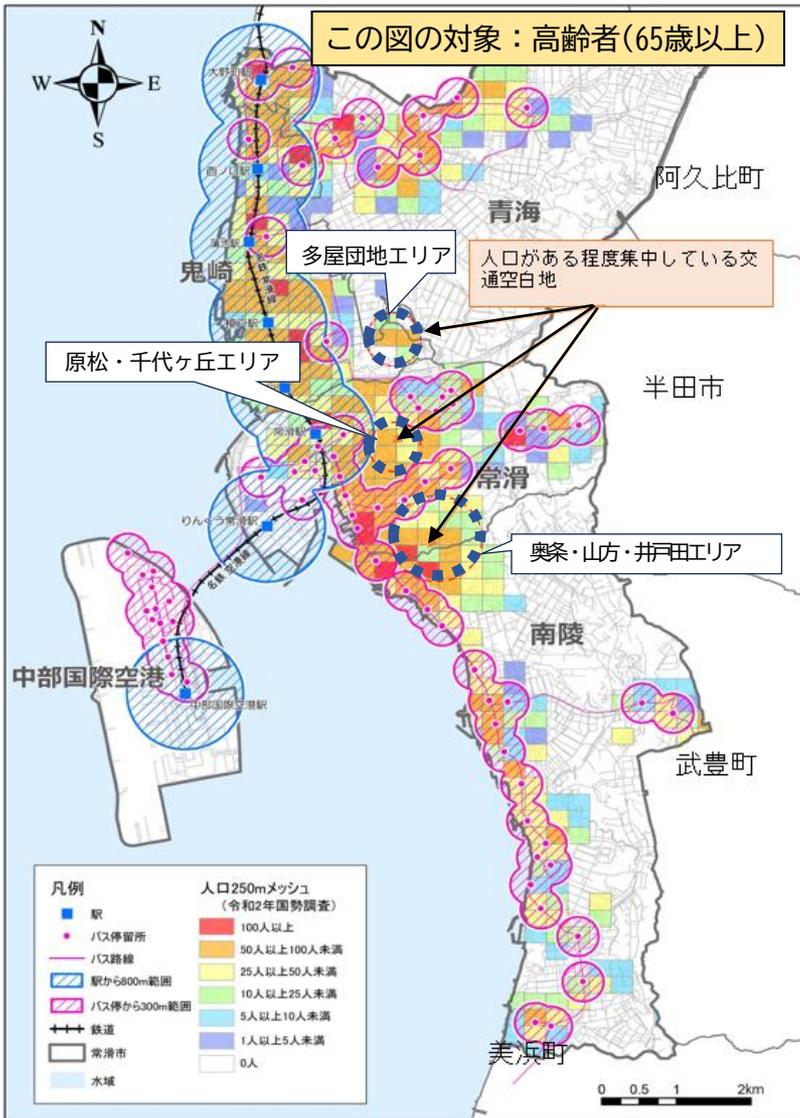


(注)路線バスの運賃等を定めようとする場合、交通協議会とは別に設置した運賃協議会での協議が必要

## 2 交通空白地対策の検討

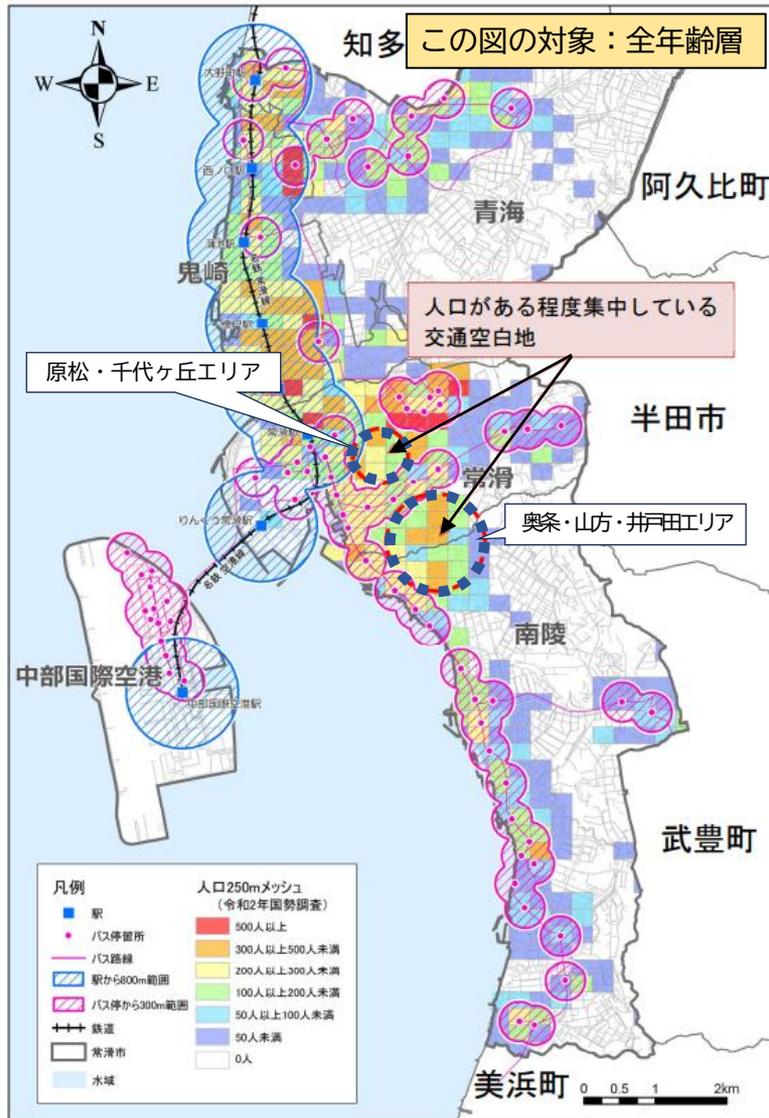
グールの運行開始により一定程度解消されたものの、図のように依然として市内に点在する交通空白地の解消に向けて検討する。

【図1 高齢者人口がある程度集中している交通空白地】



(常滑市地域公共交通計画【資料編】より)

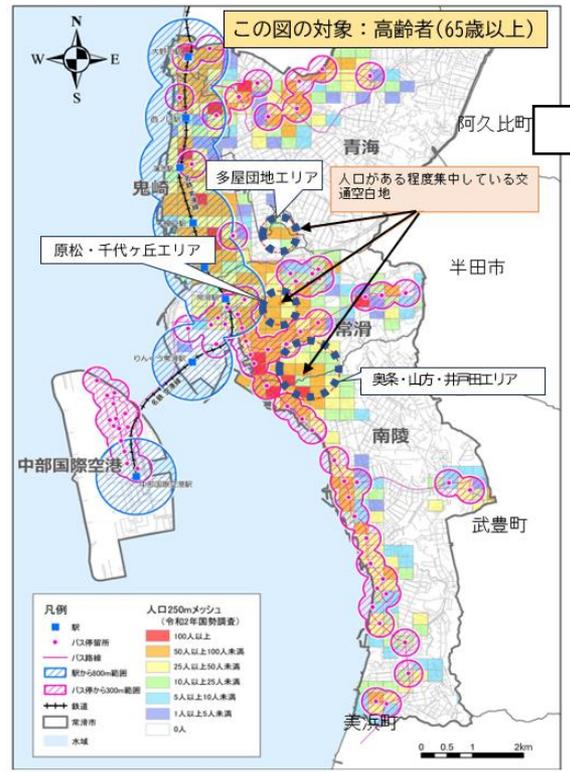
【図2 総人口に対して人口がある程度集中している交通空白地】



(常滑市地域公共交通計画【資料編】より)

(つづき：2 交通空白地対策の検討)

【(再掲)図1 高齢者人口がある程度集中している交通空白地】



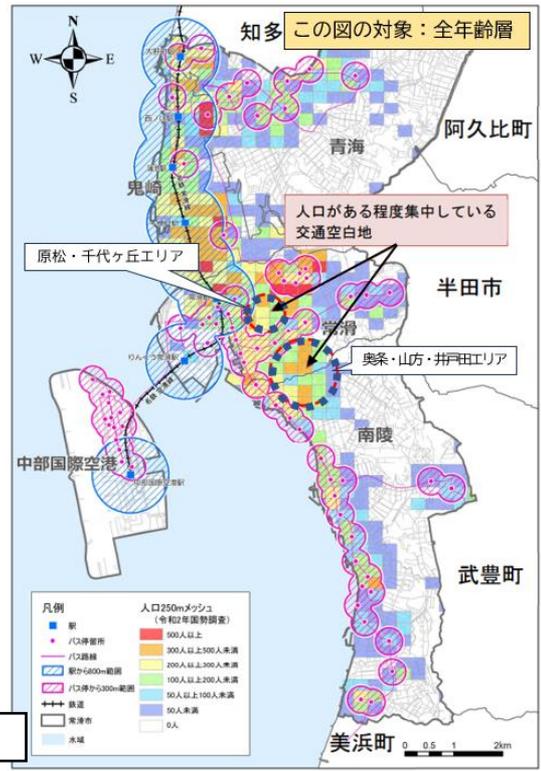
**【主な課題①】**  
 高齢者人口がある程度集中している交通空白地への対策は**特に優先度が高く**、高齢者の移動手段の確保が必要。対象エリア：「多屋団地」「原松・千代ヶ丘」「奥条・山方・井戸田」エリア

**【主な課題②】**  
 高齢者には、上記のエリア以外にも点在する交通空白地対策も必要

**【主な検討の視点】**

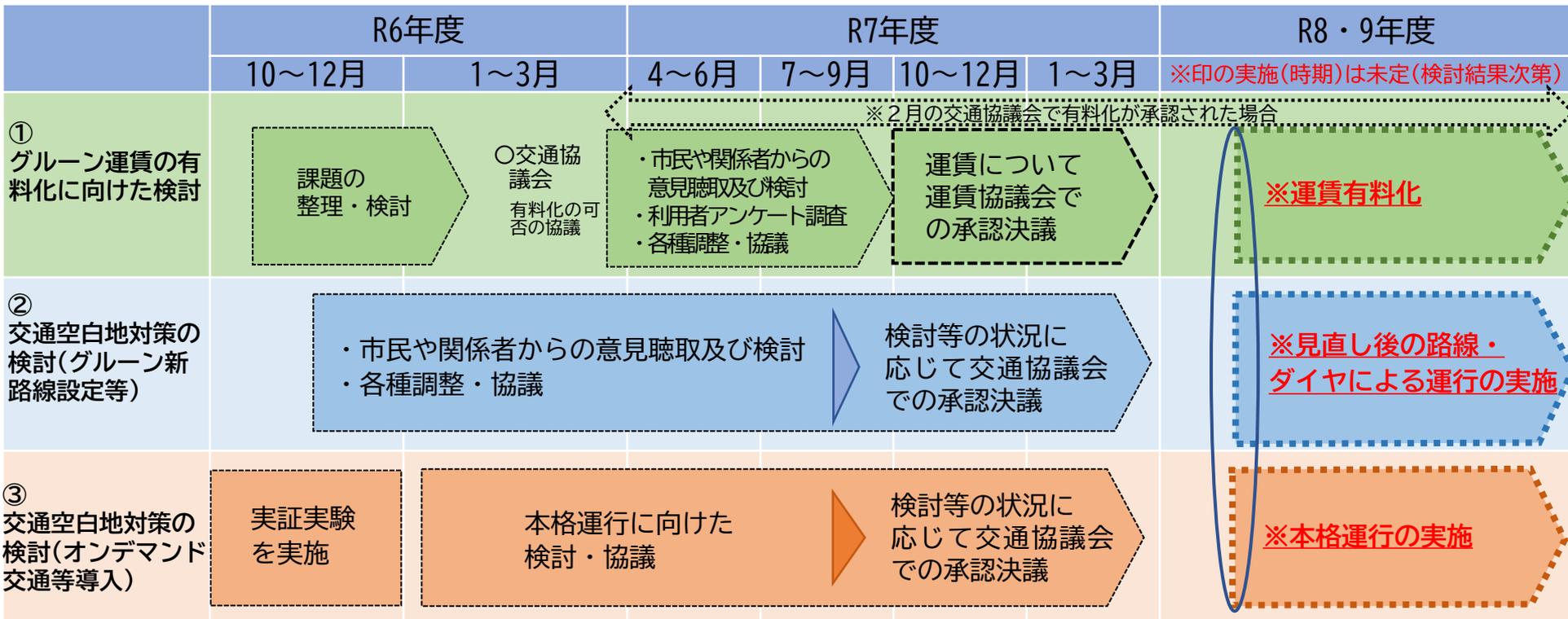
- ・ **オンデマンド交通の本格運行の検討**
- ・ **タクシー助成制度の検討**
- ・ **グールの新路線の設定を含めた路線・ダイヤの見直し**
- ・ **対策の実施時期**

【(再掲)図2 総人口に対して人口がある程度集中している交通空白地】



**【主な課題③】**  
 総人口(全年齢層)に対して人口がある程度集中している交通空白地への対策も**優先度が高い**。  
 対象エリア：「原松・千代ヶ丘」「奥条・山方・井戸田」エリア

### 3 今後のスケジュールの概要(案)



(注)実施(時期)は揃わない場合もある。

#### 【今後の交通協議会での協議について】

- ・例年、6、10、2月頃に交通協議会を開催している。
- ・各課題について適宜、交通協議会開催前に担当者部会を開催し、事前協議を行う。
- ・直近では、2~3月頃に、②交通空白地の対策手法について担当者部会を開催する予定。